



金曜ナイトドラマ
私のおじさん ~WATAOJI~
 2019年1月スタート!
 毎週金曜 よる11時15分
 テレビ朝日系

Yuki
Saito
PIC vol.19

成田出身 Yuki Saito 氏が監督として参戦！
2019年1月スタートの新ドラマ「私のおじさん～WATAOJI～」
新人AD・岡田結実 × 妖精・遠藤憲一、更に最大の敵 (!?) 城田優が出演

このお仕事ドラマは、普通じゃない。言いたいことも言えないそんな新人ADの前に、ある日、毒舌な妖精のおじさんが現れた!? “付度0”の妖精おじさんに見守られ、いや、ディスられながら送る珍妙なお仕事ライフ…金曜の夜、疲れきった日本人におくるスッキリ爽快 社会派コメディ!

恋に破れ、働き口も無くし、なかばヤケクソになった女の子・一ノ瀬ひかりがようやく就職した先は、超過酷なロケで有名なバラエティ番組。ゴミ屋敷のようなデスクで仕事をし、「唐辛子1000個探してこい」といきなり言われて途方に暮れるようなAD生活を送る中で、突然目の前に現れたのは「妖精」を名乗るおじさん(等身大)でした…!

どうやらひかりにしか見えていないと思われるこの妖精…いや、おじさん。陽気で、毒舌で、性格サイアクなおじさんは、その日から四六時中ひかりに付きまとい、励ましの言葉をかけるどころか、もうディスりまくり! ひかりが先輩や上司と話していても、横から何かと口を出してきては、その人たちのことまで文句を言い始めます(もちろん誰にも聞こえてはいませんが…)。初めはウザいし、顔怖いし、多分ストーカーだと思っていたひかり。しかし自分が口に出せない心の声や本音、愚痴をズバズバ、ドドロドロと垂れ流してくれるおじさんの存在に、徐々に一抹の爽快感を感じるようになり…?

こうして始まった、ひかりとおじさんの珍妙なお仕事ライフ——言いたいことも言えないそんな世の中で、

我慢もしない、付度もしない妖精のおじさんが、毎週“ポイズン(毒)”たっぷりの本音を、これでもかとぶちかましていきます! オブラートになんて1mmも包んじやないその本音は、まさに爽快感たっぷり!
 2019年1月、金曜の夜にスッキリ痛快なお仕事ドラマが誕生します!

今、日本は空前の「おっさんブーム」! 今年一番の話題作となったドラマ「おっさんずラブ」での活躍も記憶に新しいYuki Saito監督が、今作「私のおじさん」へ参戦することが決定しました! Yuki Saito監督のスペシャルインタビューやドラマ制作現場の裏話など、今後も本誌ロク連載にて特集していきます! お楽しみに!!



Yuki Saito プロフィール

1979年生まれ、千葉県成田市出身。成田国際高校卒業後に渡米し、本場ハリウッドで8年間映画を学ぶ。2015年、短編映画『ゴッサム ジャンプル パフェ』でショートショートフィルムフェスティバル&アジア史上初となる4度目の「観客賞」を受賞後、世界各国20以上の映画祭で上映。2012年には、被災地のペット達の救援活動をドキュメントした『インスタントペットハウス』がカンヌ国際広告祭「Direct部門」でシルバーとブロンズ、「Design部門」でもブロンズを受賞し、2013年、サンシャイン水族館『ペンギンナビ』がカンヌ国際広告祭「Mobile部門」でシルバーとブロンズを受賞。翌2014年にも同作が「Design部門」でゴールドを受賞し、3年連続のカヌヌ受賞を達成するなど、CM監督としても国内外で高い評価を受ける。ドラマでは『ロボサン』(TX)ではVFXアニメーションと実写をコラボさせた新しい試みで話題を集め、第68回日本映画テレビ技術協会VFX部門映像技術賞を受賞。2016年4月クールに放送された『昼のセント酒』(TX)が話題を呼ぶ。2016年秋には商業長編デビュー作として川端康成原作「古都」を現代版にアレンジし、松雪泰子(一人二役)を主演に迎え、橋本愛、成海璃子、伊原剛志、奥田瑛二など実力派俳優が出演し、原作の未来を描く映画「古都」で商業長編デビューを果たし、文部科学省特別選定映画に選出される。2018年「おっさんずラブ」(テレビ朝日)第6話放送後、Twitterの世界トレンド1位となり大反響を呼んだ。



Yuki Saito監督が演出に参戦中の
 ドラマが絶賛放送中!

土曜ナイトドラマ
『あなたには渡さない』
 テレビ朝日系
 毎週土曜 よる11時15分

木村佳乃が平凡な主婦から“戦う女将”に! 連城三紀彦氏の名作『隠れ菊』を現代版にリメイクした、40代の男女が繰り広げる激しく濃厚なラブ・サスペンス!